

消防庁長官から感謝状を拝受

～永年にわたる消防資機材の寄贈が評価される～

一般社団法人日本損害保険協会（会長：船曳 真一郎）では、地域の防火・防災力の強化を目的として、全国の市町村（離島除く）には1952年度から、離島には1982年度から、毎年、消防資機材を寄贈しています。軽消防自動車（含む消防資機材）の寄贈数は2025年度までに累計3,531台となりました。

今般、永年にわたる消防資機材の寄贈事業への取組みにより消防防災行政の進展に尽力をしたとして、2026年3月25日（水）に大沢博 消防庁長官から感謝状が授与されました。

その後の大沢長官との懇談では、防火や防災などについての意見交換を行いました。

日本損害保険協会では、今後も総務省消防庁や全国の消防機関と協力して、防火や防災など安全で安心な社会の形成に資する取組みに貢献していきます。



記念撮影（左：大沢長官、右：大知専務理事）



感謝状贈呈（左：大沢長官、右：大知専務理事）



懇談（手前右：大沢長官、手前左：田中消防救急課長、
奥右：大知専務理事、奥左：流業務企画部長）



感謝状